

業務用用途

事前確認書 トライブリッド蓄電システム ESS-T3 シリーズ (全負荷対応分電盤/特定負荷分電盤共通)

蓄電システムご購入前のご確認事項 <必ず確認欄に チェックをお願いします>

本システムをより快適にお使いいただくために、設置に関する事前確認事項をご精読ください。


該当の項目において、ご理解・ご承諾いただけない場合は、商品のご購入、設置ができません。(見守りサービスは任意)

<ニチコン蓄電システムをより深くご理解頂くための資料> ニチコンホームページ(<http://www.nichicon.co.jp/products/ess/>)

確認事項	確認事項のご説明	確認
保証期間	本システムは[家庭用]として開発しております。従いまして家庭用以外のご利用では、保証期間は1年(リモコン含)となります。但し、弊社指定の要件を満たす同意書の提出、あるいは業務用延長保証サービス(有償)ご加入の場合は、家庭用モデル相当の保証期間(リモコンを含)となります。これら手続きは販売店へご相談ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
心臓ペースメーカー	ペースメーカーや植込み型除細動器(ICD)を使用している方は装置に触れたり、手の届く範囲に近づかないでください。ペースメーカーやICDが誤作動する可能性があります。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会作成の患者様向けパンフレットをご確認ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
ノイズ	製品や配線から発生する電氣的ノイズが近隣(目安として半径100m以内)のアマチュア無線やラジオ等の電波受信に影響を与えることがあり、近隣にアマチュア無線局等ある場合、購入される前に販売店へご相談ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
補助金	本システム購入にあたって、各種補助金を受給した場合は、保有期間が義務付けられる場合があります。保有義務期間満了前に機器の処分、譲渡を行うと、補助金の返納を求められることがあります。	<input checked="" type="checkbox"/>
長期不使用	長期間ご使用にならないときは、取扱説明書に記載の「長期不在の場合」に従って適切に処置してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
点検コード放置	室内リモコンに点検コードが表示されている状態で放置しないこと。また蓄電システムブレーカ、契約ブレーカを2週間を超えて「切」の状態では放置すると蓄電池が過放電の状態となり、蓄電池交換(有償)となることがあります。	<input checked="" type="checkbox"/>
メンテナンスモード	年に1回(6月)、蓄電池を点検するために、自動的にメンテナンスモードを実行します。メンテナンスモードの実行には、家電品の接続(100W以上)が必要です。必ず家電品(100W以上)に蓄電システムから電気を供給してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
停電時動作の 注意点	蓄電システムは、停電運転、復電後の通常運転に切り替わる際に、数秒間電源供給が切れます。デスクトップパソコンや録画機器等データの保存が必要な機器については、UPS(無停電電源)の接続を推奨しております。また、電源が切れてはならない医療機器等は絶対に本システムに接続しないでください。分電盤で配線を分けて別に接続する等の対応が必要となります。なお、本システムの出荷時の設定では、停電時自動的に電力を供給します。電熱器等、電源供給が自動復帰されることで災害時に火災発生のおそれがある機器類は電源が自動復帰されても安全な機器(動作状態がリセットさせるもの)をご利用いただくか、室内リモコンにて「停電時出力」を「手動」に変更してご利用ください。特にドライヤー等、ON状態を維持できる電気機器は注意が必要です。センサー機能や調光機能がある照明は、停電時にちらつく場合や動作しない場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
非常時の自立出力	蓄電池の非常時の出力は最大4.0kVA(蓄電池ユニット1台)/5.0kVA(増設タイプで蓄電池ユニット2台)です。太陽光発電している、EVを接続している場合は、最大5.9kVAまで出力できます。天候や温度、蓄電池残量により使える電力は異なるため、目安として約3.5kWでご利用ください。ポンプやモーター等、起動電力が大きい機器は使用しないでください。	<input checked="" type="checkbox"/>
余剰充電制御	8.0kW以上の太陽光発電パネルを接続している場合、定格出力を超える発電電力を可能な限り蓄電池ユニットに充電できるよう、グリーンモードの余剰充電の開始時間をその日の蓄電池残量と接続している太陽光発電パネルに合わせて制御を行います(8.0kW未満の場合は制御しません)。余剰充電開始時間は日によって異なりますが、開始時間になるまでは、グリーンモード動作中であっても充電を行います。なお、本制御中の充電電力は2.0kWです。	<input checked="" type="checkbox"/>
冬季の充放電	蓄電池設置場所の気温が0℃を下回る場合には、蓄電池特性により、通常時と比べて蓄電池容量が20%前後低下します。その結果、冬季の満充電状態である80%付近で100%に値が変わる場合があります。(放電時も100%から80%付近に変わる場合あり)	<input checked="" type="checkbox"/>
充放電制御	蓄電池使用温度範囲(-10~+40℃)の上限もしくは下限付近になると、蓄電池保護のため充放電電力が低下します。特に温度が低い時は、充電電力が低下します。	<input checked="" type="checkbox"/>
充電不足	ご家庭の使用電力が大きいと、蓄電システムの充電電力が少なくなり、充電時間が延びたり、設定した時間内に所定量まで充電できない場合があります。その場合は契約電力を見直してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
停電時の起動	全電源喪失時(停電時に蓄電池がない、蓄電池残量がない、太陽光発電していない、EVが充放電していない場合等すべての電源がない)V2Hスタンド付属のケーブルを利用して、手動での起動が必要になることがあります。	<input checked="" type="checkbox"/>
2台以上の設置	各蓄電システムに対して系統を別けていただき、1系統あたり契約容量15kVA 75A以下に1台設置願います。蓄電池設備の規制に基づき消防法の届け出が必要です。電力申請は押上げ有契約となります。	<input checked="" type="checkbox"/>
動作音	パワーコンディショナ及びV2Hシステムは動作時に最大40dBの音が発生します。設置場所によっては、うるさく感じられる場合がありますので、設置場所の選定には気を付けてください。	<input checked="" type="checkbox"/>
重塩害地域	重塩害地域、沖縄・離島への設置はできません。(裏面参照)	<input checked="" type="checkbox"/>
太陽光との接続	併設可能な太陽光はESS-T3の太陽光設備容量との合算で、最大14kWとなっております。また、併設する太陽光パワーコンディショナの発電電力も余剰充電することが可能ですが、100~200W程度充電します。	<input checked="" type="checkbox"/>
エネファーム	エネファームは、接続可能機種が限られますので、販売会社にご相談ください。なお、逆流設定のエネファームは併設できません。	<input checked="" type="checkbox"/>
エコキュート	エコキュートが稼働する深夜帯と蓄電池の充電時間と重なると、充電に時間がかかったり、または満充電にならない場合がありますので、その場合には充電時間帯を変える等の処置を行ってください。	<input checked="" type="checkbox"/>
放電中の買電	蓄電池及びV2Hを利用した放電中、及び余剰充電中でも、電力会社からの0.1kW前後の買電が発生します。①蓄電池及びV2Hを利用した放電中は、電力会社との取り決めにより、わずかに電力を買電しています。②放電開始時にご家庭内の消費電力が65W以下の場合は、放電を開始できません。③放電中にご家庭内の消費電力が30W以下になった場合は放電を停止し、65W以上になると放電を再開します。	<input checked="" type="checkbox"/>
設置条件・環境	設置スペースや、直射日光が当たるところには設置できないなど弊社で定めた設置条件・環境への注意事項がございます。詳細はホームページ(ユーザーサポート 個人のお客様 ④その他の情報 蓄電システム設置条件)にてご確認ください。 https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01	<input checked="" type="checkbox"/>
故障時の損失	万一、本システムの故障に起因し、もしくは関連して発生したお客様の損失(電気、水道、ガス代等)に関わる費用は、保証期間内/外を問わずお客様負担となります。	<input checked="" type="checkbox"/>

V2Hシステムを設置しない場合は、※印の項目はご確認の必要はございません。

V2Hシステムを設置の場合	製品について	本製品は家庭の交流を直流に変換し車両へ充電、車両の直流を交流に変換し家庭へ放電を行う電気機器です。直流から交流、交流から直流への返還時には変換ロスが発生致します。また充放電時には、家電製品同様に本製品や車両側で一定の内部消費電力が発生します。 本製品を導入いただくことで電気料金の節約など経済効果を保証するものではありません。	<input checked="" type="checkbox"/>
	拡張充電電力 ※	拡張充電は太陽光の発電電力、蓄電池の電力、系統電力を利用して、最大9.9kWのEVへの充電を行います。車種や車両の状態および外部環境によって、充電電力が異なります。	<input checked="" type="checkbox"/>
	充放電コネクタの車両への接続 ※	V2Hシステムの充放電コネクタを車両に接続している間は通電状態となり、車両の蓄電池を消費します。消費を抑えたいときには、充放電コネクタを車両から取り外してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	太陽光余剰電力を用いて車両への充電 ※	太陽光余剰電力を用いて車両に充電するモードの場合は、満充電できません。また同モード動作中に放電する場合は、車両ごとに定められた放電可能下限値まで放電することはできません。	<input checked="" type="checkbox"/>
	メンテナンスモード時の車両への充電 ※	メンテナンスモードの蓄電池への充電動作が終了するまでは、車両への充電はできません。蓄電池への充電動作完了後、蓄電池から車両へのエレムープ充電を行います。メンテナンスモード終了後に、車両への充電が完了していない場合は、充電時間帯であれば、引き続き充電を行います。	<input checked="" type="checkbox"/>
	雨や雪での使用 ※	雨や雪の中でも使えますが、感電や漏電の恐れがあるので、濡れた手でコネクタに触れたり、抜き挿しすることはいけません。コネクタが濡れているときは、充放電していない時に布などで水分を拭きとってから操作してください。但し暴風雨や豪雪のときは、充放電しないでください。 冬季には充放電コネクタ部が凍結し、「充放電コネクタが抜けない」ことがあります。その場合は、ぬるま湯をかける、もしくはドライヤーなどで解凍してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	i-MiEV ※	MiEVシリーズの給電に関しては、お使いの家電製品の合計負荷が軽負荷(約200W以下)で、その負荷状態で約15分経過すると、車両側からの指示で、給電が停止する場合があります。その場合自動的に復帰を行います。電力の使用状況が変わらない場合、停止致します。	<input checked="" type="checkbox"/>
	日産車以外 ※	日産自動車以外のEV/PHEVの場合、満充電状態まで充電した直後に給電を開始した場合、車両側から給電を中断することがあります。一度充放電コネクタの抜き差しを行ってから再度、給電操作を行ってください。	<input checked="" type="checkbox"/>
V2Hスタンド対応車種 ※	【日産自動車】リーフ、リーフe+、e-NV200、アリア、サクラ 【トヨタ】プリウスPHV、bZ4X 【三菱自動車工業】i-MiEV、ミニキャブミーバン、ミニキャブミートラック、アウトランダーPHEV、eKクロスEV、エクリプスクロスPHEV 【SUBARU】SOLTERRA 【BYD】ATTO 3 (2023年7月14日時点)	<input checked="" type="checkbox"/>	

蓄電システムの見守りサービスに関するご承諾およびSII補助金申請について		承諾欄
<p>お客様が長期にわたって安心してご利用いただけるように、インターネット経由で蓄電システムの運転状態を無償でモニターする「見守りサービス」を提供しています。業務用途でご使用の場合で延長保証を申し込む場合は「見守りサービス」ご加入が必須となります。承諾欄に捺印をつけてください。承諾いただけない場合は、延長保証の対象となりません。ご確認ください。</p> <p>ニチコンオーナーズ倶楽部webサイト：https://owners.nichicon.co.jp/ QRコードでも簡単にアクセス可能です⇒ (会員登録:無料、各サービス:無料)</p> <p>見守りサービスのメリットは、蓄電システムの①エラー発生状況、②充放電時間・量などの運転情報を深夜時間帯に自動収集し、運転をモニターする他、③機器のソフトウェアの更新、④太陽光出力制御要請が発生した場合の自動対応、⑤将来ネットワーク経由で提供される新サービスなどへの対応の可能性があります。※インターネットへの接続方法は工事業者にご依頼願います。 ※通信料はお客様負担となります。SII補助金(ZEHなど)を受給する場合、製品同梱の保証書以外に、SIIへの提出資料として、システム保証書と出荷証明書が必要となります。上記の「オーナーズ倶楽部Webサイト」で会員登録した上で、必要事項を記入の上、お申し込みいただければ、ニチコンから郵送いたします。</p>		<p>必須</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> 

販売店様/施工店様へご協力をお願い

設置完了報告書の原本をニチコン(下記送付先)へ提出願います。

塩害の影響による設置可否について

トライブリッド蓄電システム(V2Hシステム含む)が設置可能な場所を下表のように定めています。
“沖縄・離島(※1)以外の地域、かつ、重塩害以外の場所”であれば設置可能です。

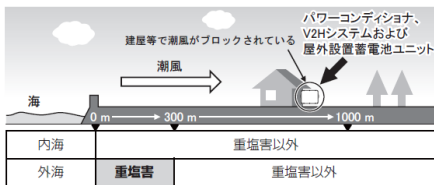
	沖縄・離島	沖縄・離島以外の地域
重塩害	×	×
重塩害以外	×	○

○:設置可
×:設置不可

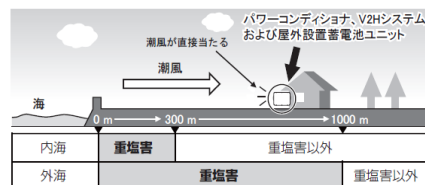
- ※1.離島: 本土から離れ、四方を海で囲まれている島で内海に浮かぶ島は除く
- ※2.内海: 瀬戸内海(領海法、紀伊水道を除く) 東京湾(観音崎と富津岬を結んだ線の北側海域) 伊勢湾(答志島と伊良湖岬を結んだ線の北側海域で三河湾を除く)
- ※3.外海: 内海以外の海

詳細はコチラ ⇒ https://www.nichicon.co.jp/products/ess/qa_juengai.html

●直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場合



●直接潮風が当たる場所



お客様の同意確認

本事前確認書の内容を理解し承諾します。 年 月 日

フリガナ	電話番号	—	—
お名前	印	ご住所	〒
販売店様	ご担当者様	電話番号	—

(送付先) 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町14-9 ニチコン株式会社 電源センター 蓄電システムサービス部

※署名、捺印いただいた原紙をお送りください。お客様の個人情報は、商品に係る情報提供やアフターサービスを行うことを目的とし、お客様の同意なしに業務委託先及び関係先以外の第三者へ開示・提供することはありません。本事前確認書の内容は予告なく変更する場合があります。